

# 平成30年度 美馬市医師会における在宅医療介護連携の実施計画書

【在宅医療・介護連携推進事業<介護保険法地域支援事業受託事業受託>・医療と介護の空きサービス情報共有化推進事業・徳島県ICT地域医療・介護連携推進支援事業】

介護保険法地域支援事業	(ア)地域の医療・介護の資源の把握 (イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 <(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携>	(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援				(オ)在宅医療・介護連携支援に関する相談支援	(カ)医療・介護関係者の研修		(キ)地域住民への普及啓発		
美馬市医師会	(1)医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討 (1)医療機関、介護事業所等の機能を情報収集 (2)情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用	情報共有システムの構築(医療と介護の空きサービス情報共有化推進事業) (徳島県ICT地域医療・介護連携推進支援事業・一般社団法人徳島県医師会)	情報共有システムの共有化(HPの更新等)	在宅医療ネットワーク化の促進	あわ西部ネットへの参加促進	多職種のための「在宅医療と介護に関する相談窓口」を医師会(3医療機関)に設置	医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得	医療・介護関係者が医療等に関する知識を習得	地域住民向け普及啓発	出前講座	
4月	4/18 行政との連携会議①	<p>平成29年度・30年度事業&lt;医療と介護の空きサービス情報共有化推進事業&gt;</p> <p>&lt;徳島県ICT地域医療・介護連携推進支援事業&gt;</p> <p>①在宅医療を行なう医師(医療機関)間で安全に情報を共有するシステム</p> <p>②在宅医療に関する各職能団体の研修情報等の共有システム</p> <p>③医療機関とケアマネジャー等の円滑な連携に資するシステム(医療機関の連携窓口の情報、ケアマネタイムの共有在宅医療・介護資源マップの共有等)</p> <p>④在宅医療提供状況の調査・分析を行なうシステム</p> <p>◆アウトプット指標 バイタルリンク参加数 35→60機関 患者登録数 6→15部屋</p>				美馬市医師会(美馬リハビリテーション病院内) 成田病院 永尾病院		三好病院生き生き講座を医療機関・介護事業所等で開催		老人会、婦人会、生き生きサロン等へ出向いて、在宅医療関係の住民啓発をする	
5月	5/22 第1回多職種連携会議					あらゆる所での啓発と周知→必要時変更していく		<美馬保健所の研修> (1)在宅医療・介護コーディネーター研修会(糖尿病・認知症) (2)徳島県退院支援(医療と介護の連携)の手引きの普及			
6月	6/ 行政との連携会議②	平成30年度「在宅医療受け入れ条件」の調査実施(郵送等にて)	終末期の自宅療養患者の緊急時の代診、訪問看護事業所等との連携について協議する機会を設ける				<p>三好病院生き生き講座依頼(医療・介護関係者Or地域住民対象)</p> <p>(1)緊急速報！脳梗塞にならないで！</p> <p>(2)なかなか聞けない女性の病氣</p> <p>(3)どうして高齢になるとむせるのかな？～口から食べて長生きするための豆知識～</p>				
7月	<9つの部会開催> 1回目										
8月	8/ 行政との連携会議③	8月29日(水) 多職種連携研修会「人生の最終最終段階における医療とケア ～ACPから考える」グループワーク 講師:医療医療法人 昭和の社 木下ファミリークリニック院長 木下英孝医師									
9月	9/ 第2回多職種連携会議										
10月		資源機能調査の結果を各事業所及び県内の地域連携室へ送付									
11月		在宅医療啓発のためのフォーラム2017in美馬東部 <10月28日(日)> in美馬西部 <1月〇〇日(〇予定)>「人生のハッピーエンドを迎えるために～もしもの時の医療について」(仮題) 講演+寸劇 講師 医療法人 昭和の社 木下ファミリークリニック院長 木下英孝医師 多職種連携会議委員 ※勇美記念財団助成申請中									
12月	11/ 行政との連携会議④										
1月	<9つの部会開催> 2回目										
2月	2/ 第3回多職種連携会議										
3月	3/ 行政との連携会議⑤										